

## 「受賞者の声」

テーマ 「障害者に対する職業能力開発」

副題 「愛知障害者校における精神障害者等への支援強化策について」

執筆者 愛知障害者職業能力開発校 前島 和雄

この度は、職業能力開発論文コンクールにおいて、厚生労働大臣賞（特選）という最高賞を賜り、光栄の至りに存じます。心から感謝申し上げます。

私は以前、平成19年に聴覚障害者の訓練技法、平成21年に障害者への就労支援を副題に独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構理事長賞を賜りました。そして今年度は、精神障害者（発達障害者を含み、以下「精神障害者等」と言う）への訓練支援策を副題に論文として取りまとめることとしました。すべての受賞において、受賞の重みと障害のある方々への職業訓練の重要性を感じております。

本論文は、近年の障害者訓練における喫緊の課題の一つである精神障害者等の訓練支援について、平成26年度に愛知障害者職業能力開発校が取り組んできた各種支援策を分析・評価し、精神障害者等と身体障害者が共に学ぶことができる訓練方式—訓練の可能性と展望について実証的に考察したものです。愛知障害者職業能力開発校の職員が、一丸となって進めてきた取り組みを少しでも多くの方々に知っていただき、同じような課題を抱える他の障害者校・関係機関のご参考となり、そして精神障害者等の方々の雇用の機会が、今後より増えることを望んでいます。

障害者の職業訓練に決して正解はなく、本論文の取り組みが完成されたものではないと実感しております。精神障害者等を始め、身体障害者、知的障害者等、就労を望む全ての障害のある方々が一様に働ける社会になることを心から望み、今後も引き続き訓練生の視点に立った職業訓練を目指して日々努力していく所存です。

障害者の職業訓練に携わる者、毎日が模索であり勉強です。